

2019年8月9日「観光・ブランディングシンポジウム in 北海道」

来賓挨拶 北海道知事 鈴木 直道

ただいまご紹介をいただきました北海道知事の鈴木 直道でございます。本日は観光・ブランディングシンポジウムが、このように盛大に多くの皆様ご出席のもとで開催されますことを心からお喜びを申し上げますとともに、開催会場といたしまして、この北海道の地を選んでいただきましたことを宿利会長はじめ、皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。

さて、我が国が訪日外国人観光客の目標を 4,000 万人という目標を掲げている中、本道においては、外国人の観光客を 2020 年度に 500 万人という高い目標を掲げているところでございます。現在は年間 300 万人に迫る状況まで来ているところであります。その目標達成に向けたさまざまな取り組みを現在進めているところでございますけれども、本日のテーマである観光をはじめとした北海道ブランドにおきましては、国内外において一定の評価をいただいていると思っております。北海道ブランドをさらに高めていくことによって、今お話をした 500 万人を達成する、また、国内の皆様にも多く訪れていただくことが極めて重要であると思っております。

G20 の観光大臣会合がいよいよ倶知安町で開催され、ラグビーワールドカップも開催されます。また本日発表になっておりますが、7 空港一体民営化についても、国家においても初めてのプロジェクトということで大きな動きがございます。そして、つい最近で言えば、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の国内における推薦がございました。来年の 1 月ないし 2 月の 1 日には国内選定ということに期待をしているところでございますし、また来年の 4 月には民族共生象徴空間のウポポイという国立の施設でございますが、アイヌ文化を伝える施設が白老町に完成をするということでもあります。本施設につきましても 100 万人の皆様を訪れていただくということを考えておりまして、文化においても、縄文さらにはアイヌという新しい認定などを弾みに、皆様に訴えをしていくというチャンスがあるわけがございます。さらに本日お集まりいただいております皆様にもご協力をいただいているところでございますが、2021 年にアドベンチャートラベル ワールドサミットのアジア初の開催ということも目指しているところであります。まさに体験型観光や、文化をはじめとする欧米を中心に大きな市場がある、そういったところにも北海道ブランドをしっかりと売り込み、アジア初の開催の誘致につなげてまいりたいと思っております。

本日は、そういったこれから飛躍をしていく、そして、させなければならないこの北海道の地において、この北海道のブランド、または 2030 年という新幹線の札幌開業年を目指した中での意見交換ということも行われるということでございまして、まさに令和の時代にこの地でこのようなシンポジウムを開催いただけることを重ねて御礼を申し上げたいというふうに思います。

本日開催にご尽力をいただきました宿利会長をはじめ、関係者の皆様、そして本日講師を務めていただきます皆様に感謝を申し上げますとともに、本シンポジウムを開催し、そしてこの実り多きものになりますことを心からご祈念申し上げます。甚だ簡単ではございますけれども、開催地を代表しての歓迎のご挨拶にかえさせていただきたいと思っております。そして、シンポジウム終了後は、北海道の素晴らしい食などもございますので、皆様には楽しんでいただければと思います。

本日は開催誠にありがとうございます。

(当日御挨拶を基に運輸総合研究所編集)